**実習指導者と看護教員の相互研修　実施要領**

１　目的

　　看護学生の実習に携わる実習施設の看護職員と看護師等学校養成所の

看護教員の連携強化を図り、臨地実習の体制整備を図る。

２　実施主体　　山口県及び公益社団法人山口県看護協会

３　会場　　　　山口県看護研修会館（山口県防府市大字上右田2686）

４　受講対象

１）看護学生の実習に携わる実習施設の看護職員

指導経験の浅い看護職員、教員とどのように話せばよいのか

研修は受講したが、初めての指導に戸惑っている看護職員

２）看護師等学校養成所の看護教員

臨地実習指導経験の浅い、または、看護師との連携が難しいと感じる教員等

※実習指導をより良くしたいと思われている方、**情報交換の場として研修への**

**参加をお待ちしております**。

５　受講料 　無料

６　研修日時及び研修内容（プログラム参照）

　　看護学校から出されている「実習要項」を１冊、可能であればご持参ください。

７　申込期間

　　令和5年6月1日（木）～6月30日（金）

８　申込方法

　　別添の申込書をFAXにて提出してください。※どちらかの参加でも可能です。

　　※申込された方は全員参加が可能です。**改めて受講決定通知は郵送いたしません**

**のでご了承ください。**受講ができない場合は個別にご連絡させていただきます。

９　申込先・問い合わせ先

　〒747－0062　防府市大字上右田2686

　　公益社団法人山口県看護協会　教育課　宛

　　TEL：0835-28-8123

　　FAX：0835-24-1230

実習指導者と看護教員の相互研修**Ⅰ**プログラム

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 方法 | 内容 | 講師・備考 |
| 8月24日（木）10：00～16：30 | 講義 | オリエンテーション**臨床実習における教材化**１．看護学実習における教材とは ２．教材づくりの具体的方法３．教材化のために必要な力 | 山口県立大学看護栄養学部看護学科教授丹 佳子　 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 方法 | 内容 | 講師・備考 |
| 8月25日（金）9：30～15：00 | 講義演習 | テーマ：臨床実習における教材づくり１．1～2個の臨床で起こったエピソード、体験を学習素材として選定する２．取り上げたエピソードから「何を学んでほしいのか」教材内容を列挙する３．講義内容を参考に学びの場をどのように創造するのか図示する４．講義内容を参考に指導者としての関わり方を考える　　発問方法、カンファレンスの進め方 | 山口県立大学看護栄養学部看護学科教授丹 佳子演習支援者 |
| 15：00～16：00 | 発表 | 全体共有グループワークの成果を発表する |

実習指導者と看護教員の相互研修**Ⅱ**プログラム

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 方法 | 内容 | 講師・備考 |
| 9月30日（土）9：30～12：00 | 話題提供 | オリエンテーション**テーマ：効果的な実習指導のための連携、協働について考える**１．話題提供１）実習指導者からの話題提供「実習指導者として行っている私の工夫」２）看護教員からの話題提供「臨床の場で教員として行っている連携、協働」―教員、病棟管理者、病棟スタッフとの連携―話題提供に対しての質疑応答 | 話題提供者3名 |
| 13：00～15：30 |  | **テーマ：効果的な実習指導のためのスタッフとの連携、協働について考える****※　情報交換の場とする**１．指導に当たるスタッフとの連携・協働がどのような効果をもたらすか整理する。２．最も効果をもたらすであろう連携・協働の具体的方法について考える  | シートⅠ～Ⅲ活用パワーポイントにまとめる演習支援者 |
| 15：30～16：00 | 発表 | 全体共有発表　３分／１グループ |